

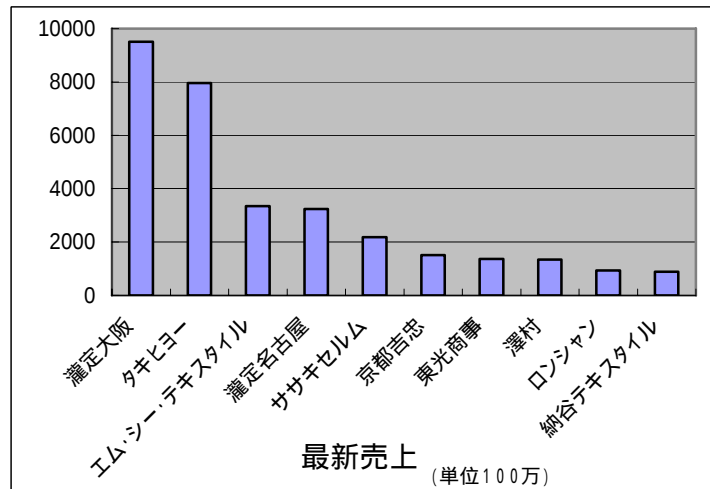
■ 読む統計

服地卸の毛織物扱い金額

10億円以上は8社のみ

上位15社の服地卸、コンバータが扱っている毛織物販売額は前年比19.1%減の356億7800万円。前年調査に比較して1位の瀧定大阪、2位のタキヒヨーの順位は変わらないが、3位にはエム・シー・テキスタイルが浮上、以下瀧定名古屋、ササキセルムとウールに強いコンバータが並んでいる。10億円以上は8社のみであった。

(織研新聞調査)



<服地卸・毛織物扱い高> (各年度上位10位まで) (単位100万)

	1989年	1994年	1999年	2004年
瀧定大阪	—	—	—	9510
瀧定	33359	26938	15343	—
瀧定名古屋	—	—	—	3232
タキヒヨー	25899	20338	14273	7962
エム・シー・テキスタイル	—	—	—	3346
京都吉忠(吉忠)	14101	12037	5156	1511
東光商事	—	—	—	1366
澤村	—	—	—	1347
ロンシャン	—	—	—	941
市田	11153	9070	3434	—
藤井毛織	9900	—	—	—
ササキセルム(佐々木毛織)	9108	7380	2788	2188
ダイショーファッション	6527	3627	—	—
モリリン	5535	2365	—	—
京絨	5070	4355	—	—
丸増	882	2048	—	—
マスヤ	—	2365	—	—
丸村	—	—	4657	—
三景サンテキスタイル	—	—	1725	—
コロナ	—	—	1496	—
吉野藤	—	—	1498	—
三共生興	—	—	1328	—
納谷テキスタイル	—	—	—	882

1989年、バブル経済時点の主要各社の毛織物扱高は瀧定の333億5900万円を筆頭にタキヒヨーの258億9900万円、吉忠の141億1000万円、市田の111億5300万円と膨大なものだったが、2004年は瀧定が大阪、名古屋を併せて127億4200万円、タキヒヨー79億6200万円、吉忠15億1100万円と激減している。過去「4強」といわれた瀧定、タキヒヨー、市田、吉忠のうち、市田は服地の売上はない。一時的に10位内にランクされた企業もあったが、2004年度にはランク・アウトした企業も多い。

これらは大半が婦人毛織物を扱っており、ここを主要販路としていた尾州産地企業もまた衰退を余儀なくされた。